

日本マニュアルコンテスト 2010

評価チェックリスト



一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会



日本マニュアルコンテスト 2010 実行委員会

はじめに

このチェックリストは日本マニュアルコンテストで使用するために、使用説明の国際規格である IEC62079:2001 の Annex B と Annex C に記載されているチェックリストをもとに作成しました。もとの規格は使用説明全般、すなわち銘板や梱包箱などに記載する使用説明まで適用範囲に含んでいるため、マニュアルには適用できない項目があります。そのような項目はこのチェックリストでは削除しました。したがって項目番号には抜け番があります。項目の番号をもとの規格と同じにしたのは、もとの規格との比較が容易になるように配慮したためです。また、もとの規格は項目だけなので、必要に応じて分かりやすいように書き直し、補足情報を付け加えました。

評価の仕方

マニュアルの評価に当たっては、以下の手順に従ってください。また、マニュアル1点あたり、4時間を目安に評価してください。

1. チェックリストとコメント用紙の上部に評価対象のマニュアル番号（冊子は表紙の隅、シート／パッケージはどちらかの面の隅に貼ったシールに記載）と評価者番号（審査委員講習会を受けられた方に送付される審査委員証に記載）を記入してください。

（Word ファイルが TC 協会ホームページからダウンロードできます。この場合要件チェックリスト最初のページのヘッダーに記入すればすべてのページに反映されます。）

2. 要件評価チェックリストの各項目について評価してください。要件評価チェックリストはマニュアルに最低限記載すべき情報が記載されているかどうかをチェックするための項目がほとんどです。評価の欄に＋、－、＃が記載されています。評価の結果を手順3 株に記載された条件に当てはめ、該当する記号を○で囲んでください。

3. 表現評価チェックリストの各項目について評価してください。表現評価チェックリストは読みやすさや分かりやすさなど定性的評価を行うためのものです。評価者の経験をもとに判断してください。評価の欄に＋、－、＃または＋＋、＋、0、－、－－、＃が記載されています。評価の結果を以下の条件に当てはめ、該当する記号を○で囲んでください。

- 要求事項を満足している。 （＋）
- 要求事項を満足していない （－）
- 該当しない。 （＃）

または

- 非常に良い／優秀 （＋＋）
- よい （＋）
- ふつう （0）
- 悪い （－）
- 非常に悪い （－－）
- 該当しない／必要ない （＃）

4. 別紙「評価コメントシート」の各欄にコメントを記入してください。特に、評価が低い評価項目（「－」以下と評価したもの）については、必ずその項目番号と評価が低い理由、さらにマニュアル中の該当箇所（ページなど）を「主な改善点」欄に記入してください。改善案があればできるだけ記入してください。

マニュアル番号： _____

評価者番号： _____

要件評価チェックリスト

マニュアルの要件の評価では以下のチェックリストの各要求事項について評価する。評価結果は評価結果欄の(+ - #)から該当する記号を丸で囲んで記入する。各記号の意味は以下のとおりである。

- 要求事項を満足している。 (十)
- 要求事項を満足していない (一)
- 該当しない。 (#)

チェック項目	評価
1 識別情報	
1.1 メーカー名またはメーカーを特定するブランド名と製品の一般名称（電気洗濯機など）、記載場所は表 1 または表 1 に相当する部分であること	+ - #
1.2 対象製品を特定する識別表記（製品ブランド名、バージョン、型番*など）、記載場所は表 1 または表 1 に相当する部分であること * 括弧やスラッシュを使って複数の型番を併記したものは認めない。例えば AL08H と AL08L という 2 つの型番を AL08H/L や AL08H/AL08L と書いたものは認めない。必ず 2 つの型番の間に十分なスペースをとるか改行したものでなければならない。	+ - #
1.4 取扱説明書の発行年月/改訂年月	+ - #
1.5 製品供給者の名称、住所、連絡先、およびサービス拠点の住所、連絡先（別紙も可）	+ - #

マニュアル番号： _____

評価者番号： _____

チェック項目	評価)
2 製品仕様	
2.1 対象製品の機能と使用目的の明示	+ - #
2.4 外形寸法、質量、容量、容積など	+ - #
2.5 性能データとその測定条件	+ - #
2.7 エネルギー消費量(消費電力など)とその測定条件	+ - #
2.8 騒音、ガス、放射線、その他の排出物の量とその測定条件 (必要な製品のみ)	+ - #
2.9 保護衣やゴーグルの装着など人身保護に必要な情報(必要な製品のみ)	+ - #
3 製品を使用するための準備に関する情報	
3.1 設置前の安全上の注意事項	+ - #
3.2 開梱の手順 (梱包材の取り外しなど) と梱包材の廃棄に関する情報(必要な製品のみ)	+ - #
3.3 設置および組み立てに関する情報(必要な製品のみ)	+ - #
3.5 輸送のための再梱包の方法 (必要な製品のみ)	+ - #
3.6 無資格者による操作 (使用) の制限。ユーザーの技術レベルや役割分担 (管理ユーザーと一般ユーザーの区別など) に合わせてマニュアルが分冊構成になっている。(必要な製品のみ)	+ - #
4 操作 (使用) 説明関連情報	
4.1 機能の説明 - 想定される使用目的のための正しい使い方 - 想定される使用目的のための安全な使い方 - 予見可能な誤用に関する警告	+ - #
4.3 オプションがある場合はそれに関する説明	+ - #
4.4 人身保護のための情報(必要な製品のみ)	+ - #
4.6 廃棄物の取扱(必要な製品のみ、掃除機のごみの取り扱いなど)	+ - #

マニュアル番号： _____

評価者番号： _____

チェック項目	評価
6 保守に関する説明	
6.4 ユーザーによる保守及び清掃に関する説明	+ - #
6.6 故障診断と修理に関する情報	+ - #
6.7 代理店、販売会社および製造者によるサポートに関する情報	+ - #
7 ユーザーの安全及び健康に関する情報	
7.1 マニュアルの冒頭部に安全情報がまとめて書かれている	+ - #
7.3 やっても良いことと良くないことが明確に指示されている	+ - #
7.7 使用時の環境への影響に関する説明	+ - #
7.8 製品の廃棄方法に関する説明 - 1つの章にまとめて記載されている（多い場合） - 廃棄／収集方法の記載	+ - #
7.9 特定の集団(高齢者や幼児など)に対する危険に関する情報	+ - #
8 情報の一貫性	
8.1 用字・用語に一貫性がある	+ - #
8.2 画面や外観図と本文に使われる記号に一貫性がある	+ - #

マニュアル番号： _____

評価者番号： _____

表現評価チェックリスト

表現評価では以下のチェックリストの各要求事項について評価する。評価結果は評価結果欄の(+-#)または(+++0---#)から該当する記号を丸で囲んで記入する。各記号の意味は以下のとおりである。

- 要求事項を満足している。 (十)
- 要求事項を満足していない (一)
- 該当しない。 (#)

または

- 非常に良い／優秀 (++)
- よい (+)
- ふつう (0)
- 悪い (-)
- 非常に悪い (--)
- 該当しない／必要ない (#)

確認項目	評価
1 読みやすさ	
1.1 製品上の情報（組み込みマニュアルのみ）	
- 文字の大きさ	++ + 0 - - #
- コントラスト	++ + 0 - - #
1.2 マニュアル(紙のみ)	
- 紙の品質（裏写りが顕著でない）	+ - #
- 文字の大きさ（9pt 以上）	+ - #
- 行間隔（文字サイズの 150%以上）	+ - #
- 異なる字体／文字の大きさの使用（大見出しは 12pt 以上）	+ - #
- キャプションの読みやすさ（文字サイズ、行間、引き出し線など）	++ + 0 - - #
- 読みやすいコントラスト	++ + 0 - - #
- 効果的な色の使用	++ + 0 - - #
- ページのバランス及びまとまりの印象	++ + 0 - - #

マニュアル番号： _____

評価者番号： _____

確認項目	評価
2 電子媒体（オーディオ、ビデオ、マルチメディア）による使用説明	
2.2 明快な操作方法	
- 操作方法が直感的、論理的、シンプル、簡潔など	++ + 0 - -- #
- わかりやすいメニュー構造	++ + 0 - -- #
- ナビゲーションシステムにおける使用者の疑問への回答の見つけやすさ	++ + 0 - -- #
2.3 明快な説明と適切な設計	
- 見出しの付け方、強調表示のしかた、フォントの使い方、文章配置の一貫性	++ + 0 - -- #
- テキスト（音声又は文字）と画像（静止画、動画）の対応が適切	++ + 0 - -- #
- ユーザーが必要な情報を取得しやすい画面設計	++ + 0 - -- #
- トピックの長さが適切	++ + 0 - -- #
- 情報の適切なグループ化および階層化とその表示	++ + 0 - -- #
- フォント、フォントサイズ、強調表示、色、コントラスト及び図形による強調効果の活用	++ + 0 - -- #
- 適切な言葉使い	++ + 0 - -- #
- 画面切り替えの間隔が適切	++ + 0 - -- #
- 理解しやすい図形、動画及びビデオの順序	++ + 0 - -- #

マニュアル番号： _____

評価者番号： _____

確認項目	評価
4 文章と用語	
4.1 文章と語句の使い方（TC 協会発行の「日本語スタイルガイド」を基準に評価）	
- 文法、表記、用字用語	++ + 0 - - - #
- 読みやすい表現	++ + 0 - - - #
- 誤解されない表現	++ + 0 - - - #
4.2 専門用語	
- 略語の初出時の説明	++ + 0 - - - #
- 専門用語の初出時の定義	++ + 0 - - - #
- 専門家ではない読者にもわかりやすいように説明されている	++ + 0 - - - #
4.3 文書の構造	
- 分かりやすい見出し	++ + 0 - - - #
- 操作／機能の説明が、基本的なものから複雑なものへと順番になっている	++ + 0 - - - #
- ユーザーの目的に合わせたグルーピング	++ + 0 - - - #
6 テクニカルイラストレーション	
6.1 品質（パースの狂いがない、線種の使い分けが適切、省略、強調が適切など）	++ + 0 - - - #
6.2 明確で具体的な情報を伝達するのに十分なイラストレーションの数	++ + 0 - - - #
7 図記号	
7.1 JIS に則った図記号の使いかた	++ + 0 - - - #
7.2 JIS 以外の図記号は明確でわかりやすいか、又は説明されているか	++ + 0 - - - #

マニュアル番号： _____

評価者番号： _____

確認項目	評価
8 テクニカルイラストレーション以外の図（キャラクターイラスト、概念図など）	
8.1 目的にあった大きさ	++ + 0 - -- #
8.2 分かりやすい（同じ情報に同じ図の構造）	++ + 0 - -- #
8.3 概念図では図中の文章がわかりやすく配置され、一貫性がある	++ + 0 - -- #
8.4 関連しあう図と文章が近くに配置されている	++ + 0 - -- #
9 表	
9.1 文書中の適切な位置に配置されているか	++ + 0 - -- #
9.2 表内の言葉や文章が適切か	++ + 0 - -- #
9.3 表のデザイン・レイアウト(余白、欄のサイズなど)	++ + 0 - -- #
11 色の使用	
11.1 機能的（注意に黄色、安全に緑を使うなど）	++ + 0 - -- #
11.2 分かりやすさ（色を使いすぎない、効果的かどうか）	++ + 0 - -- #
11.3 一貫性	++ + 0 - -- #
11.4 UD に対する配慮	++ + 0 - -- #
12 目次／索引	
12.1 本文の長さ及び複雑さに対して適当	++ + 0 - -- #
12.2 見出しが本文の見出しと一致(+/-/0)	+ - #
12.3 分かりやすさ、一貫性、有益性	++ + 0 - -- #
12.4 ページ番号の記載(+/-/0)	+ - #
13 トラブルシューティング	
13.1 想定されるエラー、警告表示、故障のリストと対処方法（+/-/0）	+ - #
13.2 ユーザー自身が回復可能か／修理可能かどうかの明確な指示	++ + 0 - -- #

マニュアル番号： _____

評価者番号： _____

応募者が評価・コメントを求める点に関して：

マニュアル番号： _____

評価者番号： _____

主な長所：（コメントの対象となる部分のページ番号も書いてください。）

主な改善点：（コメントの対象となる部分のページ番号も書いてください。）



日本マニュアルコンテスト 2010

主催：一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会